

示した。甚大な被害を受けた益城町とその周辺地区については、創造的復興を推進するためのグラウンドデザイン「大空港構想Next Stage」を年内に策定する。

早急な対応は、復旧・復興の基本的方向性に沿って「くらし・生活の再建」「社会基盤の復旧」「地域産業の再生」「交通機能の回復」の四つに分類。このうち「くらし・生活の再建」の取り組みでは、▽仮設住宅等の提供▽宅地の復旧・耐震

「社会基盤の復旧」は、▽被災道路の応急復旧・本格復旧着手▽国道57号・阿蘇大橋復旧方針決定・俵山ルート年内仮復旧▽市町村庁舎など防災拠点の復旧支援▽熊本都市圏東部地域グラウンドデザイン(大空港構想)の策定▽熊本城復旧の推進など。大空港構想では、

甚大な被害を受けた益城町、西原村、熊本市東部地区の創造的復興を推進するため、阿蘇くまもと空港ターミナルビルの今後の姿を含め、周辺地域

補助金等による地域産業の再生など。農地・農業用施設等は30年度までに復旧、沿山・林道等は4力年で対策工事を完了させる方針。大切畑ダムについては、技術検討

## 労使一丸で

### 熊建協菊池

熊本県建設業協会菊池支部(前川浩志支部長)は7月28日、菊池市文化会館で第18回安全大会を開

## 国土交通行政功労 事務所長表彰



### 熊本営繕

7月28日に開き、優良施工業者(工事部門)で「熊本空港複合庁舎(27)

建築改修その他工事外「一件工事」を施工したこざき(熊本市)、安全施工業者で「ハローワーク大分(27)建築改修その他工事」を施工した友岡建設(大分県竹田市)を表彰した。

鳥飼重友所長は表彰理由を、「こざきが施工した熊本合同庁舎A棟は熊本地震の際、地域住民の避難所となったが、天井改修等をしていたので安心して受けれることができた。余震でも損傷する

ことなく立派な施工をしていた」「友岡建設については「ハローワークは来庁者の多い施設で、難易度の高い工事。施設管理者からの要望にも対応していただいた」と語った。

受賞したこざきの古崎正敏代表は「熊本では今後震災からの復旧復興が本格化する。我が社もこれを契機に頑張っていきたい」。友岡建設の友岡孝幸代表は「業界は担い手不足が大きな課題。イメージアップに努め、課題解消に向け取り組みたい」と話していた。